

令和元年度

事業報告書

社会福祉法人 崇徳会
高齢者総合ケアセンター
マザーアース

目 次

1. 施設の概要	1
2. 沿 革	1～5
3. ケア報告	6～9
4. 苦情報告	10
5. 安全衛生委員会	11
6. 特別養護老人ホーム	
(1) 入所の状況	12
(2) 月別入退所者数	13
(3) 行事实施状況	14～15
(4) 面会状況	16
(5) 外出状況	16
7. 在宅支援について	
(1) 短期入所生活介護現況	17
(2) 短期入所 報告	18
(3) 年間通所介護利用状況	18
(4) 通所介護現況	19
(5) 通所介護報告書	20
(6) 通所介護年間行事	21
8. 施設内事故報告	22～23
(1) 事故・ヒヤリハット件数報告	23
(2) 事故発生場所 時間	23
(3) ヒヤリハット発生場所 時間	23
9. ボランティアの受け入れ状況	24
10. 実習の受け入れ	25
11. 学習支援	25
12. 職員研修・施設内研修	26～28
13. 健康管理	
(1) 健康管理処置状況	29
(2) 通院・入院状況	30
(3) 常食給与栄養摂取量	31
(4) 行事食実施記録	32
(5) 令和1年度反省点(栄養課)	33
14. 居宅介護支援事業所	34
15. 高齢者あんしん相談センター	35～36
16. あんしんセーフティネット事業	37～38

1. 施設の概要

- (1) 名 称 社会福祉法人 崇徳会
高齢者総合ケアセンター マザーアース
- (2) 所在地 埼玉県ふじみ野市大井621-1
- (3) 開 設 平成5年8月1日
- (4) 事業所(定員) 介護老人福祉施設(56名) 短期入所生活介護(14名)
通所介護(25名)
居宅介護支援事業所 高齢者あんしん相談センター
- (5) 敷地面積 4,430.53㎡
- (6) 建物面積 RC造2階建て 2,377.77㎡
- (7) 職 員 数 施設長 1名 副施設長 2名 事務員 5名
相談員 1名 看護師 4名 ケアワーカー 39名
介護支援専門員 4名 保健師 1名
主任介護支援専門員 2名 社会福祉士 1名
管理栄養士 1名 調理員 10名 施設管理 4名
社会貢献支援員 1名 委託医(非常勤)2名 運転手 2名
- (8) 業務内容 心身に障害があるなど介護保険に該当する65歳以上の第一号被保険者
及び40歳以上65歳未満の第二号被保険者(心身に障害があり、その原因
となる疾患が特定疾患と認定された者)で、要介護状態と認定された者に
対する必要な介護サービスを行う。

2. 沿革

- 平成5年7月 社会福祉法人 崇徳会 認可
理事長に 野溝 伊之助 就任
- 7月 特別養護老人ホーム マザーアース 認可
施設長に 田貝 邦子 就任
- 8月 マザーアース開設
- 10月 デイサービス開設
- 平成6年7月 社会福祉協議会特別会員入会
- 平成7年8月 夏祭り開催(近隣住民招待)・家族会の発足
- 平成8年8月 三周年記念夏祭り開催(近隣住民・ボランティア等招待)
- 平成9年4月 在宅介護支援センター開所
- 9月 施設長 田貝 邦子 退任
- 10月 施設長 野溝 守 就任
- 平成10年8月 開所5周年記念行事
- 平成11年10月 居宅介護支援事業所開設

- 平成12年 4月 介護保険事業による通所介護・短期入所生活介護・訪問介護を開始。
併せて施設名称を社会福祉法人崇徳会 高齢者総合ケアセンター
マザーアースと改める。
- 平成13年 4月 通所介護事業の定員を20名から25名に増員。
10月 申出窓口及び第三者委員の設置
- 平成14年 8月 開設10周年記念行事
9月 埼玉県共同募金会「共同募金受配要望事業」により
送迎リフト車整備
- 平成15年 3月 入所制度の改革により入所検討委員会を設置
4月 短期入所生活介護事業の定員を16名から20名に増員
訪問介護事業を廃止する。
- 平成16年 2月 日本財団「福祉車両助成事業」により送迎リフト車整備
5月 郵政省「社会福祉事業」により特殊機械浴槽チェアインバス整備
- 平成17年10月 大井町・上福岡市が合併によりふじみ野市となる
- 平成18年 4月 介護保険制度の改正により、地域支援事業(介護予防事業)が
制度化される
- 平成19年 3月 在宅介護支援センター閉所
3月 理事長 野溝 伊之助 退任
4月 理事長 野溝 守 就任
4月 地域包括支援センター開所
- 平成20年 3月 開設15周年記念行事 「堀田 力氏」講演
共催 大井町社会福祉協議会(大井町社会福祉協議会歳末福祉事業配分事業)
6月 本田技研労働組合研究所支部よりステップワゴン寄贈
- 平成21年 2月 日本財団「福祉車両助成事業」により送迎リフト車整備
- 平成22年 2月 介護老人福祉施設事業の定員を50名から56名に増員する
短期入所生活介護事業の定員を20名から14名に変更する
10月 埼玉県 生活保護世帯の学習支援事業スタート
- 平成23年3月11日 14時46分 東日本大震災の発生
原発事故の被災者受け入れ
12月 第5回埼玉県高齢者福祉研究大会 分科会にて
「終末の方のサービス利用について」の研究発表を行う。
- 平成24年 6月 介護職員等による喀痰吸引等の実施の体制整備(認定者6名)
- 平成25年 5月 社会福祉法人として「彩の国あんしんセーフティネット事業」に取り組む
7月 生活保護世帯の就労体験 3名受け入れ
8月30日 「マザーアース 開設20周年記念パーティー」開催

- 平成26年 2月 「介護の魅力PR隊」へ参加
- 8月 「平成26年度 県費補助金 大規模修繕工事」 着工
- 9月 「彩の国あんしんセーフティネット事業」 開始
埼玉県第2ブロック拠点施設となる。
「埼玉県高齢者福祉研究大会」にて
「高齢者施設で定着しない同性介助について」 研究発表を行う。
- 10月 「ふじみ野市介護支援ボランティア制度」開始
ふじみ野市より受け入れ施設として指定される
- 平成27年 1月 「平成26年度 県費補助金 大規模修繕工事」 竣工
赤い羽根 平成26年度事業共同募金交付事業による
ナースコールシステム設置
- 3月 マザーアース ホームページ 開設
「福祉の心を育む交流事業」ふじみ野市教育委員会にて
各学校(東台小、東原小、大井小、大井中)へ学校図書の
購入費を寄付
- 9月 「埼玉県高齢者福祉研究大会」分科会にて
「介護現場における声掛けについて」研究発表を行う
- 平成28年 3月 「福祉の心を育む交流事業」にて
各学校(東台小、東原小、大井小、大井中)へ
- 8月 埼玉県多様な働き方実践企業ゴールド認定
- 10月 喀痰吸引等の実施の体制整備(認定者2名)
- 11月 公益財団法人埼玉県産業文化センターと日本フィルハーモニー
交響楽団の共催による「日本フィルハーモニー交響楽団弦楽
四重奏コンサート」の開催
- 12月 赤い羽根 平成28年度事業共同募金交付事業による
アプローチ舗装工事竣工
- 12月 「関東郵便局長会」よりおせち料理が寄贈される
- 平成29年 2月 「福祉の心を育む交流事業」にて東原小と交流
マザーアースにて演奏会を開催
- 3月 「福祉の心を育む交流事業」にて大井中と交流
マザーアースにて音楽部による合唱会を開催
- 3月 「福祉の心を育む交流事業」にて
各学校(東台小、東原小、大井小、大井中)へ
学校図書の購入費を寄付
- 4月 「日産プリンス埼玉販売(株)」様より社会貢献活動の一環として

車いす1台寄贈される。

- 6月 公益財団法人JKA主催リングリングプロジェクト・オートレース補助事業
による、特殊浴槽(寝位浴槽)を設置
- 9月 「関東ブロック老人福祉施設研究総会」において
「心地よい居場所づくり」の研究発表を行う
- 9月 「埼玉県介護ロボット普及促進事業」より補助金を頂き、
見守りケアシステム内蔵、低床3モーターベッド3台購入
- 9月 「福祉の心を育む交流事業」にて、東台小学校と交流
5年生を対象に「福祉」についての説明会を開催
- 11月 「福祉の心を育む交流事業」にて
東台小学校児童とマザーアースにて交流会を開催
- 12月 埼玉県高齢者福祉研究大会にて
「レクリエーションの楽しみ方について」の研究発表
作品展のデイサービス利用者様の作品を出品
- 平成30年 2月 「埼玉県介護ロボット普及促進事業」より補助金を頂き、
介護ロボット「ハル」を2台購入(リース)3月29日納品
- 4月 「介護ロボットを活用した腰部負荷軽減プロジェクト」参加
- 8月 広報誌「マザープレス」第1号発行
- 10月 秋祭り開催
- 11月 「マザーアース開設25周年感謝の集い」開催
- 12月 広報誌「マザープレス」第2号発刊
- 12月 HAL腰タイプ好事例対象審査員特別賞受賞
- 平成31年 1月 埼玉県介護人材採用・育成事業者認定制度
ランク3(三つ星)認証
- 2月 彩の国あんしんセーフティーネット事業
社会福祉法人による就労支援事業開始
- 3月 福祉のこころを育む交流事業として
東原小音楽クラブと交流を行う
- 令和元年 5月 9日 埼玉県「介護職員合同入職式・表彰式」に5名参加
- 5月11日 川越ロータリークラブと新日本フィル交響楽団協賛による
「母の日コンサート～感謝の気持ちを込めて～」開催
- 10月 1日 ふじみ野市内の社会福祉法人とふじみ野市社会福祉協議会で
つくる共同相談窓口「つながる相談窓口」開設
- 10月28日 ふじみ野市より地域密着型老人福祉施設(ユニット型)
開発許可を受ける。

- 11月14日 風の里保育園の園児たちと交流会開催
- 12月26日 新送迎車購入(日産)
- 12月27日 大塚食品株式会社よりビタミン炭酸飲料寄贈される。
- 令和 2年 1月 9日 SAITAMAプロジェクトによりセブンイレブンジャパンより
商品の寄贈を受ける。
- 2月23日 新型コロナウイルスの関係で特養入所者及び短期入所者家族の
面会制限開始。ボランティア受け入れ一時停止。
- 3月31日 「福祉のこころを育む交流事業」として東台小、東原小、
大井小、大井中に学校図書購入費を寄贈する。

3. ケア報告

【特別養護老人ホーム】

令和1年度は、利用者に個人個人の落ち着ける場所や楽しみと生きがいのある生活を一緒に考え、安全な生活を送っていただけるよう検討した。人材育成では、新人職員にはチューターを中心に見守りとアドバイスを行った。また、中堅職員の希望を踏まえてOJTを行った。

- (1) 排泄介助では、ひとりひとりに合った方法を検討し、特におむつ内の蒸れと褥瘡を無くすため排泄用品の検討を行い継続し話し合った。
- (2) 褥瘡予防対策委員会では、月1回会議を開き、リスクが高い、又は褥瘡が出来ている利用者の「状態報告と個別の対応」を話し合い、介護課、看護課、栄養課、相談課で連携を図った。また、現場の職員が周知できるよう回覧の徹底をした。
- (3) OJT（施設内研修）では、介護未経験である職員にも理解してもらえるように、パート職員を含め新入職員を中心に「入浴事故防止」、生活の場での「事故防止」、認知症の方への「接遇マナー」「排泄介助」「口腔ケア」「食事介助」「体交枕の当て方」「服薬介助」を行った。
その他にも「感染症予防対策」「高齢者虐待防止」「看取り介護」「誤薬事故発生防止」「人権擁護」「身体拘束適正化」などのテーマでOJTを実施し、職員の資質向上を図った。
- (4) 口腔ケアでは毎月、歯科医や歯科衛生士から助言と指導を頂くと同時に計画書を作成して実施した。
- (5) 毎月のお茶会は季節に合った和菓子を提供した。その他、フルーツポンチ、アイス、さつまいもとチーズのホットケーキ、団子、フルーチェ、ホットケーキなどのケーキ類が人気で、季節により具材を変えて提供した。
その他季節を感じていただけるような行事を行った。余暇活動では、アロマオイルを使い上下肢のマッサージや血行の促進効果のある足湯、拘縮や麻痺がある方には可動範囲内でリハビリを兼ねて健やかな時を過ごして頂いた。
- (6) 身体拘束適正化では、介護職員対象の研修を行い、職員の思い、感想・意見など、書面をもって提出してもらった。今後も継続し、全員で身体拘束に向けて、最大限の努力を行っていくようにする。
- (7) 感染症対策への理解

インフルエンザやノロウイルスなどの感染症は、流行していたが、利用者に感染しなかったことは良かった。また、新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、国のガイドラインに従い、感染症対策に努めていく。

今後も健康管理ガイドラインに従い、館内の除菌スプレーの使用、換気による空気内洗浄、基本的な手洗いとうがいなど、各自予防に努めていく。

(8) 介護ロボット「HAL」の導入について

やむなく離職せざるを得ない職員で、大きな部分を占める原因の一つが「腰痛」。当施設では、平成30年4月より委員会を立ち上げ、職員の腰への負担軽減等を図ってきた。月1回の老施協主催のHALプロジェクト事業の定例会への参加及び月1回施設内でのHAL委員会を実施している。今後は、利用者への装着を視野に入れて、運動機能の向上を目標としていく予定である。

(9) 施設内で死亡された方が8名。(看取り介護4名)

御家族が主治医から「今後は看取りの介護になります」との話を聞き、職員と共に看取りのためのケアプランを作成した。

「今日という日を大切に過ごされる」ために日課で予定されない生活を重視した。徐々に衰えていく利用者に合わせて看護、介護、栄養面で配慮しながら、時間を問わず、頻繁に訪問されるご家族には、相談員を中心に気持ちの整理と心の準備について援助した。泊まってついていてあげたいというご家族の気持ちに寄り添い、ご家族も泊まれるよう同じ部屋にベッドも置いた。

看取り介護が終わり、ケアの振り返りを行うカンファレンスでは、納得の出来る介護が出来たかどうか、今後、より良い看取りを提供していくには、どうすれば良いかを常に考えて向上を図った。

「終のすみか」としての役割を果たせるように、更なる精進をしていく。

【デイサービス】

(1) 生活援助

ご利用者の在宅生活の様子をご家族、ご本人、ケアマネジャーから話を伺い、また連絡帳を通して情報交換を行い、報告・連絡・相談を徹底する事により、安全で快適な生活を提案するよう努めた。

(2) 日常動作訓練（生活リハビリテーション）

高齢者に多い転倒、誤嚥などのリスクを考え、予防の意識を個々に持っていただけるように声かけを行い、体操やレクリエーションを通して身体機能の維持に努めた。

(3) 相談

ご利用者から相談がある時は良く話を伺い、必要に応じてご家族・ケアマネジャーとも連絡を図り、安心した生活を送れるように援助した。

(4) 送迎サービス

ご利用者の身体の状態や介護状況に合わせた送迎を行い、また車酔い等の個々の事情も考え、安全面にも配慮した送迎を行えた。雨天時は特にステップ乗車の際等に、滑らないように注意を払った。

(5) 入浴サービス

ご利用者、ご家族のほとんどの方はデイサービスでの入浴を希望されている。ご家庭での健康状態、家族、ケアマネジャーからの情報を元に健康チェックを行い無理のない入浴を実施するように努めた。入浴中の事故を防ぐため、日頃のヒヤリハットを参考にして職員間の声かけ、ご利用者に対しての見守り・声かけなど安全面に配慮するようにした。又「楽しみとしての入浴」を目標に実施した。

(6) 食事

栄養バランスの他、粥食・荒刻み食・極刻み食・ミキサー食・代替食等、できる限りの要望が満たせるよう栄養士と検討し提供した。ご利用者の声を大切に厨房との連携も図った。朝の会で献立を紹介する事で、想像力をかき立てるようにしながら、脳の活性化を促した。

(7) 介護サービス

ご家族との状況交換を密にし、各ご利用者のADLに合った介護を提供した。ご利用者に対して画一的な対応でなく、個別の対応も取り入れた。

(8) 介護予防

運動器の現状維持、口腔機能の向上に関するサービスの提供を行い、要支援、要介護状態の改善や重度化の予防に取り組んだ。また、ご利用者ができる限り自立した生活を送れるような支援を心がけた。

(9) 通所介護計画

サービス担当者会議等で、ご利用者の日常生活の状況や希望を確認し、日頃のデイでの様子も考え、居宅サービス計画に沿っての通所介護計画を作成した。半年ごとの見直しを行い御家族、ケアマネジャーに計画内容を理解して頂いた。

(10) 趣味活動

各ご利用者のADL、興味に合ったプログラムを準備し、御利用者の楽しみになるよう提供した。主に紙工作、縫物、編物、色塗り、壁画の共同制作など手指のリハビリにつながるよう御利用者に参加して頂いた。楽しみにつながり、心身の活性になる内容を提供するように努めた。また、3B体操、ちぎり絵、生け花、ハーモニカ、書道等の指導はボランティアの方についても継続してお願いしている。音楽療法、ハンドケア・ネイルアートを定期的に行った。

(11) 行事

四季折々の行事を企画して、季節の移り変わりを感じて頂き、心身の活性へとつながっていった。又「デイサービスを利用して楽しかった」と少しでも感じていただけるようにサービスを提供した。

(12) 職員教育

定期的な研修、意見交換の場（帰りのミーティング）を計画し、日々の業務、利用者へのサービス提供に共通意識をもって取り組んでいけるようにした。今行なっていることが最高とは思わず、いつでも上を目指しながらサービスに勤しむように心掛けた。

【ショートステイ】

(1) 緊急時

ふじみ野市との契約で、緊急受け入れを行なっている。

令和元年度はふじみ野市より3名の相談を受け、3名を受け入れ。富士見市より2名の相談を受け、2名を受け入れした。

また、川越市、地域包括支援センター、ケアマネからの急な依頼にも迅速に対応した。

(2) 利用状況

定員14名の中で、定期的にロングショートステイの方を確保していた。前年に比べて実人数はそれほど変わっていないが、利用日数は増えている。これはロングショートが増えたためと思われる。

(3) 利用者確保

利用予約を待っているだけでお客さんが来る時代ではないということを再認識して、入所待機者のケアマネや病院等、当施設のショートステイを利用して頂くように声掛けを随時行なった。又、見学者に対しても、送迎を行なう、若干の時間延長等、利用者様、ご家族のニーズに沿った対応も行ってきた。

特養の方がなくなった場合、ロングショートの利用で埋めることが多いため、月に2～3名退所となるとロングショートの補充が追い付かず、利用者減になるという現象が起きることをご理解いただければと思う。

4. 苦情報告

第三者委員の連絡先は、常時廊下の掲示板に貼り出している。第三者委員への連絡を入れる事はなかった。第三者委員に対して苦情の報告会を行い、ひとつひとつ説明し意見を頂いた。

第三者委員の方からは、「衣類に食べこぼしが見られたり、着ている洋服がほつれていたりすると、預けるご家族としては、身なりを整えて預けたのにどうしてこのような形で過ごしているのだろうと思います。大切な人を預けるというのは、それ程の思いがあつてのことだと思うので、身だしなみはいつも気にかけて対応することが大切」という意見を頂いた。また、情報共有をきちんとし、同じことが起きないようにすること、利用者はお客様という事を常に心に留め、利用者様に感謝の気持ちを持つ事。いつも新たに会う人だと思って対応すると良い、と助言を頂いた。些細な苦情も書類に残し改善を図ることでサービスの向上を図った。

苦情の内容は、職員の処遇方法、私物の管理方法、職員間の連携、身だしなみ介助が十分に行えていない事が挙げられた。

平素事故防止のためヒヤリハット委員会を中心に事故の原因やその背景を検討し、対策を考えているが、生活の場としての「身体拘束に依らない介護」には、リスクが常に伴っている。怪我をさせない責任を果たそうとすると、ご本人の自由を制限する方向にいつてしまう。かといって、マンツーマンでは見ていられない現実がある。

今まで通り事故を回避する対策は取るものの、防ぎきれない事故もありうるということを、施設とご家族の問題だけでなく、広く社会の方々にも理解して頂きたい。

「専門職（プロ）だろう」と言われ、怪我をさせないのが当たり前のような考えは、荷が重い。私たちは、どんな障害や問題がある方でもその方にとって、一番良い対応を考えようとすることに専門性を感じている。

今回「いかに事故を起こさないようにするか」も当然大事だが、それ以前に職員間の情報共有やマザーアースの職員である事をひとりひとりが自覚し 対応に当たるようにしなければならないと感じた。当施設のような「生と死」が隣り合わせの環境の場合、ご家族が感情的になるケースがある事に鑑みて、思いを受け止めていけるようにしていかなければならない。

第三者委員の方々には、苦情対応の難しさや当施設での真摯な対応を理解していただき、今後の改善についてはより一層努力するように助言をいただいた。

5. 安全衛生委員会

- ①安全面・衛生面に問題がないか施設内の定期巡回・点検を行った。
- ②産業医による環境のチェックを行った。
- ③職員の心の健康について
 - ・職員の精神的な問題について相談・受診などのサポートを行った。
- ④感染症対策について
 - ・手洗いうがいの徹底、個々の健康管理に関する呼びかけ・ポスター掲示を行った。
 - ・利用者のご家族にも、面会の際手洗いうがいの呼びかけを行い、館内に病原体を持ち込まないようにした。
 - ・インフルエンザの流行時期及び新型コロナウイルス（covid-19）の流行に伴い、来訪者の体温測定を行い、感染防止に努めた。
 - ・新型コロナウイルスの世界的まん延に伴い、利用者・職員・施設内環境における感染予防対策の周知、体調不良者の経過確認、記録を行った。
- ⑤健康診断を基にD・E判定の職員へ受診等を促した。

6. 特別養護老人ホーム

(1) 入所の状況

① 保険者別 (R2.3.31現在)

保 険 者	男	女	計
ふじみ野市	10	33	43
富士見市	0	2	2
三 芳 町	1	1	2
川 越 市	6	1	7
能 代 市	0	1	1
東松山市	0	1	1
練馬区	1	0	1

② 年齢構成 (R2.3.31現在)

区分	男	女	計	割合
65～69歳	0	0	0	0%
70～79歳	6	2	8	14%
80～89歳	10	15	25	43%
90～99歳	3	22	25	43%
100歳以上	0	0	0	0%

③ 平均年齢 (R2.3.31現在)

(才)

	最高年齢	最低年齢	平均
男性	91	72	83.5
女性	99	74	90.2

男女平均 (88.1)

④ 平均介護度の推移 (H31.4～R2.3.31)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平均介護度	3.89	3.91	3.94	3.83	3.91	3.94	3.94	3.91	3.93	3.91	3.98	4.01

⑤ 要介護度入所者構成 (R2.3.31現在) 平均介護度 4.0

要介護1	要介護度2	要介護度3	要介護度4	要介護度5	合 計
0	1	15	24	17	57

(2)月別入退所者数

	前月末人員	本月入所者	本月退所者	本月末人員	
4月	56	0	0	56	入所者
5月	56	0	0	56	男性 6名
6月	56	1	2	55	女性 6名
7月	55	1	0	56	
8月	56	0	0	56	退所者
9月	56	0	0	56	男性 6名
10月	56	0	0	56	女性 5名
11月	56	2	2	56	
12月	56	5	5	56	*退所理由
1月	56	2	1	57	→死去 10名
2月	57	0	0	57	(ホーム内での
3月	57	1	1	57	死去8名)
合計	673	12	11	674	

※ご家族や嘱託医の協力を得て、各職域の全力ケアのもと、ホーム内で
安らかなターミナルを迎えられて方たちが4名いらっしゃいました。

(3) 行事实施状況

①年間行事实施状況

月	日	行 事 名
4月	16	舞の会
	25	ホーム喫茶
5月	11	新日本フィルハーモニー交響楽団コンサート
	30	ホーム喫茶
6月	25	入所者健康診断
	27	ホーム喫茶
7月	3	少年剣道
	25	ホーム喫茶
8月	29	ホーム喫茶
9月	16	敬老会
	26	ホーム喫茶
10月	5	秋まつり
	8	なみき幼稚園マーチングバンド
	11	東台小学校交流会
11月	8	風の里保育園 交流会
	8	大井小学校音楽会 鑑賞
	28	ホーム喫茶
12月	8	東入間警察少年剣道 交流
	8	東台小学校 交流会
	12	フルート演奏会
1月	30	ホーム喫茶
2月	27	ホーム喫茶
3月	23	移動カフェ
	27	移動カフェ

※「福祉の心を育む事業」では、今年も近隣の小中学校を対象として交流を行い、施設は学校図書を寄付する流れを社会福祉協議会と一緒に協力しながら、世代間交流を深めています。

② 週間のケア

	AM				PM		
	特 A	特 B	ショート	入 浴	特 A	特 B	ショート
月	※	※	遊ビリ 脳トレ・色ぬり	Aグループ	口腔アセスメント 将棋ボラ	包布交換	※
火	美容	美容	美容 車椅子清掃	Bグループ	居室水モップ	口腔アセスメント 居室水モップ	※
水	ちぎり絵	※	ちぎり絵	Cグループ	ミーティング	ミーティング	※
木	※	※	※	Aグループ	将棋ボラ トイレ清掃	トイレ清掃	ミーティング
金	習字教室	※	習字教室	Bグループ	回診 居室水モップ	回診 居室水モップ 遊ビリ	回診
土	浴室清掃	※	浴室清掃	Cグループ	環境整備	環境整備	環境整備
日	環境整備	環境整備	環境整備	希望者	足浴 ケアプラン記録 車椅子清掃	足浴 ケアプラン記録 車椅子清掃	ケアプラン記録 カラオケ喫茶 シアター 車椅子空気入れ

※ 毎日の業務

- ・入浴 利用者あたり 週二日 実施
- ・シーツ交換 利用者あたり 週一日 実施
- ・水分補給 毎日、午前、午後に実施
- ・部分清拭、眼脂清拭 2階フロア毎日実施
- ・口腔ケア 毎日実施 アセスメント週一回
- ・髭剃り、整容 火曜、金曜、日曜
- ・食堂清掃
- ・コミュニケーション

ショートステイ業務

ショート利用者の入退所業務
送迎、荷物整理、ベッドメイキングなど

③月間・年間実施表

月 間 実 施 表

- ・3B体操・レクリエーション・ホーム喫茶
- ・体重測定・懇話会・精神科・コーヒータム
- ・将棋ボランティア・音楽ボランティア
- ・津軽じょんがらボランティア
- ・ナースコールチェック・お茶会
- ・レクリエーションボランティア
- ・職員会議・リーダー会議・各部署会議
- ・特養会議・給食会議
- ・ホーム内研修・検便
- ・身体的拘束適正化委員会
- ・褥瘡予防対策委員会
- ・感染症予防対策委員会(1・4・7・10月実施)
- ・ヒヤリハット委員会

年 間 実 施 表

利用者健康診断
職員健康診断
外部研修(OFF-JT)
施設内研修(OJT)

(4) 面会者状況

平成31年4月1日～令和2年3月31日

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
面会者数	173	187	193	190	225	235	178	209	232	213	147	1

年間合計 2,183人

月平均 182人

(5) 外出状況

平成31年4月1日～令和2年3月31日

令和1年度は、自宅への外泊が5名、ご家族との外出（食事・買い物）が7名、いらっしゃいました。その他、外出できない方もいらっしゃるので、マザーアースの庭でカフェの開催など、外気に触れる機会を設けました。

外泊・外出時には介護タクシーの手配や屋内の出入りがし易いようにスロープを貸し出すなど施設で協力できることを行いました。

面会に訪れるご家族は定期的に来られる方が主で、面会のない利用者の方も数名いらっしゃいました。

7. 在宅支援について

(1) 短期入所生活介護現況 (R2.3.31現在)

① 保険者別 (R2.3.31現在)

保 険 者	男	女	合計
ふじみ野市	5	8	13
富士見市	1	0	1
川越市	0	2	2
越生町	1	0	1
合 計	7	10	17

② 年齢構成 (R2.3.31現在)

区分	男	女	計	割合
40～69歳未満	1	0	1	6%
70～80歳未満	4	1	5	29%
80～90歳未満	1	6	7	41%
90～100歳未満	2	2	4	24%
100歳以上	0	0	0	0%
合 計	8	9	17	100%

③ 平均年齢 (R2.3.31現在)

(才)

	最高年齢	最低年齢	平均
男性	91	68	79.25
女性	99	76	86.2

男女平均 (87.8)

④ 平均介護度の推移

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平均介護度	2.9	2.6	2.6	2.7	2.8	3.1	2.8	2.8	3.1	2.7	2.9	3.1

⑤ 要介護度別構成 (R2.3.31現在)

要介護1	要介護度2	要介護度3	要介護度4	要介護度5	合 計
1	5	6	5	0	17

(2) 令和元年度 短期入所 報告

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実人数	20	18	17	20	18	16	16	19	14	15	14	17	204
延べ人数	337	307	319	308	327	271	293	291	273	263	269	238	3,496
平均利用日数	16.8	17.0	18.7	15.4	18.1	16.9	18.3	15.3	19.5	19.5	19.2	14.0	17.2

(月平均 実人員 16.8 月平均 290.0)

(3) 年間通所介護利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実人員	37	37	36	34	35	36	38	34	35	34	41	40	437
延べ人数	421	438	388	442	394	390	442	396	401	380	350	393	4,835
介護予防 実人員	4	4	4	5	5	4	3	3	3	3	3	2	43
介護予防 延べ人数	24	27	22	32	34	28	23	17	21	18	11	12	269
1日平均(日中)	20.2	20.2	20.5	20.6	19.4	19.9	20.2	19.6	21.1	19.9	17.5	18.4	19.8

(4) 通所介護現況 (R2.3.31現在)

① 保険者別

保 険 者	男	女	合計
ふじみ野市	5	32	37
富士見市	0	1	1
三 芳 町	1	0	1
徳 島 市	0	1	1
合 計	6	34	40

② 年齢構成

区分	男	女	計	割合
40～70歳未満	0	0	0	0%
70～80歳未満	3	5	8	20%
80～90歳未満	3	16	19	47.5%
90～100歳未満	0	13	13	32.5%
100歳以上	0	0	0	0
合 計	6	34	40	100%

③ 平均年齢

	最高年齢	最低年齢	平均
男性	89	70	79
女性	96	72	87

全体 85.6歳

④ 要介護度別構成

要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
1	1	13	14	6	4	1	40

(5) 通所介護報告書 (H31.4月～R2.3月)

①利用延べ人数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
延べ人数	445	465	410	474	428	418	465	413	422	398	361	405
利用日数	22	23	20	23	22	21	23	21	20	20	20	22
平均利用者数	20.2	20.2	20.5	20.6	19.4	19.9	20.2	19.6	21.1	19.9	17.5	18.4

②介護度別利用者実人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
要支援 1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
要支援 2	3	3	3	4	4	3	2	2	2	2	1	1
要介護 1	15	13	13	13	13	14	15	14	14	14	13	13
要介護 2	11	12	11	10	10	10	11	10	11	11	11	14
要介護 3	6	6	6	6	6	6	6	6	5	5	6	6
要介護 4	5	6	6	5	5	5	5	3	4	3	1	4
要介護 5	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1
合 計	41	41	40	39	40	40	41	37	38	37	34	40

③新規利用者状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
マザー	0	0	0	0	1	1	2	1	0	0	1	0	6
おおい	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
他	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1

※マザーは「マザー居宅」、おおい「包括おおい」、他は「他事業所」

④退所状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
入院	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
老健	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	3
他施設	0	1	0	0	0	0	0	0	2	0	0	1	4
マザー	0	1	0	2	0	0	1	0	0	0	0	0	4
他界	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
他	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2

※他施設⇒他のデイ・デイケア・ショート等 マザー⇒ショート・入所 他⇒転居など

※他の施設にいかれた理由⇒リハビリがしたい(他のデイケア)・その他施設に入所したい(グループホームのデイ)

マザーの回数が増やせない(他のデイ)・送迎が難しくなった(他のロングショート)

⑤平均介護度・・・1.8

⑦一日平均・・・19.8人 月平均・・・425人

(昨年度 一日平均18.1人 月平均 388人)

(6) 通所介護年間行事

- 4月 マザーアース南庭にてお花見
 地藏院へしだれ桜 お花見
 花飾り寿司（2種類）（4／24）
- 5月 端午の節句行事（5／2）・母の日行事（5／10）
 鯉のぼり（5／27）
- 5月～6月 くら寿司へ外食
 （5月下旬～6月上旬）
- 6月 父の日行事（6／13）
 まんまるカステラ（6／14）
- 7月 七夕行事（7／5）
- 8月 夏祭り（8／21・22）
 すいかの白玉ポンチ（8／13）
- 9月 敬老会（9／17・18）
 抹茶のジェラード（9／9）
- 10月 運動会（10／10・11）
 簡単なも菓子（10／17）
- 11月 お買い物ツアー（11月下旬～12月上旬）
 じゃがいも餅のみたらし（11／13）
- 12月 クリスマス会（12／24・25）
 チョコくるみクッキー（12／17）
- 1月 新年会
 紅白おしるこ（1／13）
- 2月 節分行事（2／3）
 バレンタインティラミス作り（2／14）
- 3月 雛祭り行事（3／2・3）
 いちごミルクプリン作り（3／18）

- ・行事の様子がご家族にわかるよう、写真を撮り配布した。
- ・行事やおやつ作りは、季節感を味わえるよう意識しながら取り組んだ。
- ・誕生日会のプレゼントは、職員手作りの物を全員にお渡しした。
- ・来年度も利用者様に楽しんで頂き、笑顔が溢れるようなデイサービスを目指し、皆様に好評だった「外食・買い物」等、外出の機会を増やしていきたい。
- ・音楽療法、ハンドケア・ネイルアートにも力を入れていきたい。
- ・自立支援の一環として、食事の盛付や下膳等を利用者様が出来るようにしていく。

8. 施設内事故報告

平成30年度

令和1年度（平成31年度）

・ヒヤリはっと	23件	→	30件
・事故	94件	→	98件

※委員会会議は月に2回、14時30分から開催

※月末の最終月曜日に当月の事故・ヒヤリはっとの報告と対応策の検討

※2週間後の月曜日にフィードバックとして、検討した対応策の実施結果報告と再検討を行う。

令和1年度（平成31年度）の集計

事故	： 98件	骨折（疑い含む）	3件	誤薬	2件
		頭部外傷	1件	転落	1件
ヒヤリはっと	： 30件				

※今後の課題

- 会議の参加
- ・担当委員が会議に出席できるよう配慮する。
 - ・委員が報告書を確認し、会議に臨むような体制づくりが必要。

- 記 録
- ・報告書の記入はできているので、状況がわかるような内容で簡潔化を目指す。
 - ・ケアカルテを活用していけるよう、検討を重ねる。

- 危機管理
- ・事故やヒヤリはっとが起きてしまったときは、出来るだけ早いうちに当部署で状況を把握し、対応策を検討する。
 - ・当部署以外にも書面（3部署）や報告にて情報を共有する。
 - ・委員会会議において討議された内容を回覧して、職員ひとりひとりが危機の意識を高める。
 - ・利用者の状態によっては、施設全体で取り組むこともあり日頃より連携を図り、協力できる体制をとっていく。

(1) 令和元年度事故・ヒヤリハット件数報告

(件)

	ヒヤリハット	事 故		ヒヤリハット	事 故
4月	1	6	10月	2	5
5月	1	5	11月	2	9
6月	4	6	12月	3	9
7月	2	9	1月	4	14
8月	4	9	2月	3	11
9月	3	8	3月	1	7

(2) 事故発生場所 時間

		17:31～0:00 準夜勤	0:01～9:00 深夜勤	9:01～12:00 午前中	12:01～17:30 午後	計
	玄関		1		1	2
	中庭					0
	南庭					0
	お風呂			3		3
	ベランダ					0
1階	居室	4	8	1	4	17
	廊下	1	2		4	7
	談話室	1			5	6
	トイレ			1	2	3
	食堂		1	1	2	4
2階	居室	3	9	2	4	18
	廊下	8	6	2	2	18
	トイレ	1	1		1	3
	食堂	1	5	2	3	11
	その他			ナースルーム 1	デイルーム 2	3
	計	19	33	13	30	95

(3) ヒヤリハット発生場所 時間

		17:31～0:00 準夜勤	0:01～9:00 深夜勤	9:01～12:00 午前中	12:01～17:30 午後	計
	玄関					0
	中庭			1	1	2
	南庭					0
	お風呂				1	1
	ベランダ					0
1階	居室	3	1	1	2	7
	廊下(談話室)	1		1	1	3
	トイレ			4	3	7
	食堂			1	1	2
2階	居室	1	1		1	3
	廊下					0
	トイレ					0
	食堂			1	2	3
	その他					0
	デイルーム				2	2
	計	5	2	9	14	30

9. ボランティア受け入れ状況

ボランティアの活動は日常的に定着した。特に地域の子供たちの来所は、利用者の楽しみと生きがいになっている。

ボランティア活動状況

ちぎり絵ボランティア	毎週水曜日	3名
地域ボランティア	毎週木曜日	3グループ1～7人
習字ボランティア	隔週金曜日	2名
舞の会（特養）	第2水曜又は第3水曜	1名～3名
3B体操	第一月曜日 第四火曜日	1名
美容ボランティア	毎週金曜日	1名
介護相談員	月2回	2名
クラリネット演奏	月1回	1名
傾聴ボランティア	月2～3回	5名
生け花	月2回	1～2名
ハーモニカ	月2回	1名
将棋ボランティア	毎週月・木曜日	1名
音楽ボランティア	第2木曜日	1名
津軽じょんがらボランティア	第1火曜日	4名
レクリエーションボランティア	第3火曜日	1名

※H31.4月にて終了

- 学校関係・地域への協力・・・なみき幼稚園・東原小学校・東台小学校
大井小学校・大井中学校・三芳中学校
三芳東中学校

※傾聴ボランティア（むすび）とは・・・

利用者の方の傾聴を必要とする人のお話に耳を傾け、その気持ちに寄り添うことで心や身体の健康を増進。利用者が安心して過ごせるよう、活動して頂いている。

※介護相談員とは・・・

市町村が「事業の実施にふさわしい人格と熱意をもっていると認めた人で、一定水準以上の養成研修を受けた人」と定められている。

介護相談員は、まず利用者から苦情や不満等をよく聞いたのち、本人への助言や法人側と意見交換を重ねて問題のありかを提示し、サービスの質の改善につながる提案をします。また、行政機関の関与が必要な場合は市町村の事務局を通じて適切な対応策をとります。介護相談員は、サービス利用者・サービス提供者・行政機関の橋渡し役です。

10. 実習の受け入れ

実習期間はさまざまであったが、受け入れの際は担当者を置き、計画的な対応を行った。

7月3日～7月5日	三芳中学校	6人
8月12日～	帝京平成大学	1人

11. 生活保護世帯の子供への教育支援

月・水曜日の18:00～20:00を学習時間として、中学生（主に生活保護家庭）の教育支援の場として1階の食堂を提供した。支援員、ボランティアの参加も含め一日30人程の出席があった。それぞれに希望の進学先に進むことが出来た。

学習の他、クリスマスや年度末の集まりにはお菓子等の差し入れを行い喜んでいただいた。相互の信頼関係が構築できた

12. 職員研修

(1) 外部研修 (職員の資質向上を図るため、施設外の研修に参加した)

4月	18日	H31年度経営戦略セミナー	3名
	24日	第1回認知症ケア技術向上事業 打ち合わせ会議	1名
	26日	介護ロボットHAL 4月定例会	3名
5月	9日	R1年度介護職員合同入職式	5名
	15日	メンタルヘルス推進者養成研修	1名
	24日	R1年度埼玉県老人福祉施設協議会「定期総会」及び「施設長会議」	3名
	30日	中堅職員キャリアパス研修A(30・31)	1名
6月	4日	チームリーダーキャリアパス研修(4・18)	2名
	27日	あんしんセーフティネット事業 担当相談員養成研修	1名
7月	2日	第1回社会貢献活動推進連絡会議	1名
	3日	「かくた光由」さんを応援する会	5名
	10日	R1年度ふじみ野市社会福祉法人研修会・情報交換会	2名
	12日	R1年度社会福祉施設経営実務セミナー	1名
	12日	R1年度埼玉県老施協相談員研修	2名
	16日	R1年度埼玉県老施協事務員研修	1名
	17日	中堅職員キャリアパス研修(17・18)	1名
	19日	あんしんセーフティネット事業 担当相談員養成研修(19・26)	1名
	23日	第1回介護保険事業所連絡会	2名
	26日	ユニットケア研究部会 個別ケア研修	1名
	29日	認知症介護事業者全体研修会	2名
	31日	介護ロボットHAL 7月定例会	3名
8月	2日	介護支援専門員研修会①	1名
	7日	R1年度埼玉県老施協入間東支部 第1回職員研修会	2名
	7日	真空調理セミナー&実演試食会	2名
	9日	特定処遇改善加算対応研修会	1名
	9日	外国人雇用に向けた研修	1名
	21日	看護職員研修会(21・22)	1名
	22日	あんしんセーフティネット事業 第1回ブロック会議	1名
	22日	介護予防事業研修	1名
	27日	R1年度第2回経営協セミナー	1名
9月	2日	福島工業真空調理セミナー	5名
	3日	第12回埼玉県高齢者福祉研究大会	3名
	6日	地域福祉活動推進者研修(6・13)	1名
	9日	あんしんセーフティネット事業 担当相談員専門研修・就労支援担当者養成研修	2名
	10日	ふじみ野市社会福祉法人相談支援研修会	2名
	18日	シニアレクリエーション実践セミナー	1名
	20日	新任介護職員定着支援事業	1名
	30日	認知症ケア入門研修	1名
	30日	スーパービジョン研修	1名

10月	3日	デイサービス部会研修会	1名
	4日	介護職員施設間交流研修	1名
	7日	初任者キャリアパス研修（7・16）	1名
	8日	スーパービジョン研修	1名
	11日	新任介護職員定着支援事業	1名
	15日	21世紀委員会研修会 KAIGO塾	3名
	16日	看護職員研修会	1名
	24日	女性リーダー研修会	2名
	29日	介護ロボットHAL 10月定例会	3名
	29日	全国老協 愛媛会議（29・30）	3名
11月	5日	事業所向け「自立支援」研修	2名
	8日	栄養士・調理員研修会①	1名
	11日	包括的支援体制構築に向けた合同事例研修会（11・20）	1名
	15日	介護の日記念研修	1名
	15日	北関東・信越ブロック協議会セミナー	1名
	18日	要介護施設・事業所従事者向け高齢者虐待防止研修	1名
	18日	社会福祉法人管理者研修	1名
	19日	介護支援専門員研修会②	1名
	20日	全国老人福祉施設大会（20・21）	3名
	21日	地域包括・在宅介護支援部会研修会	1名
	25日	介護職員ハラスメント対策研修会	1名
	25日	福祉サービス苦情解決セミナー	1名
	26日	介護ロボットHAL 11月定例会	3名
	29日	21世紀委員会研修会 KAIGO塾	3名
12月	2日	介護体験実務説明会	1名
	2日	全国地域包括・在宅介護支援センター研究大会（2・3）	1名
	3日	採用力アップ研修	1名
	4日	リスクマネジメント研修（4・10）	1名
	6日	栄養士・調理員研修会②	1名
	20日	21世紀委員会研修会 KAIGO塾	3名
1月	10日	業務改善研修	1名
	20日	第1回アクチュアル・ミーティング	1名
	29日	介護ロボット埼玉フォーラム	2名
2月	3日	埼玉県災害派遣福祉チーム員登録時研修	3名
	6日	二市一町高齢者虐待防止ネットワーク会議	3名
	10日	あんしんセーフティネット事業第2回担当相談員専門研修	2名
	10日	現場発信！タウンミーティング	2名
	10日	デイサービスセンター協議会代表者等研修会	1名
	17日	第2回ふじみ野市社会福祉法人情報交換会	2名
	18日	介護事業経営者セミナー「施設長の学校」	1名
	21日	あんしんセーフティネット事業第2回ブロック会議・研修	2名
3月	※新型コロナの影響ですべて中止となる		

(2) 施設内研修(OJT)

4月	24日	高齢者虐待防止の為に I
	24日	身体拘束の廃止の為に I
	27日	入浴事故防止の為に I 浴室にて
	28日	夜勤前の職員研修
5月		
	29日	H30年度のヒヤリハット・事故報告書のまとめ(振り返り)
	29日	誤薬を防ぐには I
6月	18日	新人接遇
	26日	感染症対策について I 食中毒予防
	26日	感染症対策について I 麻疹とは
7月	20日	口腔ケアと食事介助 I
	21日	口腔ケアと食事介助 II
	31日	看取り介護について I
8月	3日	介護支援用ロボットスーツ(HAL) 安全講習会
	28日	人権擁護について I 人権擁護委員とは
	28日	褥瘡予防について I
9月	25日	口腔ケアに関する研修
10月	30日	感染症対策について II 看護課
	30日	感染症対策について II 栄養課
11月	27日	服薬誤薬事故発生防止の為に II
	27日	事故発生防止のために II
	28日	入浴事故防止の為に II 浴室にて
	30日	身体的拘束適正化 研修 介護職員対象 I
12月	25日	褥瘡予防について II
1月	21日	夜間緊急時オンコール対応マニュアル I
	25日	夜間緊急時オンコール対応マニュアル II
	29日	看取り介護について II 看取りの流れと今年度の振り返り～
	30日	身体的拘束適正化 介護職員対象 I
2月	26日	消防訓練
	26日	人権擁護について II 高齢者虐待防止のために
3月	15日	身体的拘束適正化 研修 介護職員対象 II
	18日	服薬介助の手順について III
	25日	苦情について 令和1年度のまとめ

13.健康管理

(1)健康管理処置状況

項 目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
検 温	765	817	796	814	844	776	850	839	774	732	753	802	9,562
血 圧 測 定	504	528	453	504	503	471	520	510	521	471	482	485	5,952
体 重 測 定	55	56	56	56	56	52	56	57	53	54	56	55	662
心 臓 貼 布 剤	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	29	31	366
湿 布 貼 布	0	4	13	12	0	3	8	2	0	7	10	0	59
常 時 投 薬	1629	1696	1618	1676	1736	1680	1736	1678	1686	1682	1591	1653	20,061
臨 時 投 薬	270	241	278	265	236	221	275	222	238	217	207	229	2,899
軟 膏 塗 布	402	311	251	274	278	272	294	273	263	263	284	275	3,440
レ シ カ ル	6	4	4	2	1	1	5	1	1	5	4	0	34
浣 腸	5	6	10	8	9	4	16	13	7	5	5	6	94
摘 便	3	4	7	3	7	7	20	12	15	11	5	9	103
点 眼 薬	377	362	311	316	341	330	341	317	310	283	261	279	3,828
外 科 的 処 置	246	140	293	140	179	176	138	111	149	97	92	104	1,865
点 滴	0	0	0	0	1	1	0	4	0	0	0	0	6
酸 素 吸 入	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2
吸 引	0	0	6	7	2	14	7	12	15	0	1	0	64
注 射	1	0	1	1	31	30	33	84	31	31	29	31	303
針・灸・マッサージ	18	18	16	18	18	16	16	18	16	16	14	16	200
臨時処方箋あり	32	0	51	44	32	32	28	44	31	21	37	31	383
ショートステイ	301	273	294	275	302	278	277	303	319	309	314	278	3,523
入 院	21	6	16	29	0	0	0	1	16	0	4	31	124

(2) 通院・入院状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
消化器外科	(男)												
	(女)												
耳鼻科	(男)				1								
	(女)								1				
外科	(男)												
	(女)												
内科	(男)						1		1	1			
	(女)	2		1		1	1		2	1		1	
泌尿器科	(男)	2	6	3	4	5	3	2	4	3	3	3	6
	(女)												
整形	(男)	1	1	1			1						
	(女)			1	1	1	2	1		2			
皮膚科	(男)	2	1	1	1	1							
	(女)		1										
歯科	(男)		1						1				
	(女)	5	1		1		3	1	1				
脳外科	(男)	2		1								1	
	(女)												1
眼科	(男)		1		1			1					
	(女)												
精神科	(男)												
	(女)			1									
入院 月末現在	(男)	2								1		1	1
	(女)	1	1	1	1				1				

(3) 令和1年度 常食給与栄養摂取量

	エネルギー (Kcal)	蛋白質 (g)	脂肪 (g)	カルシウム (mg)	鉄 (mg)	ビタミンA (μ gRE)	ビタミンB1 (mg)	ビタミンB2 (mg)	ビタミンC (mg)
マザーアース における 1人1日当りの 栄養必要量	1327	56	37	600	10	600	1.1	1.1	100
4月	1543	67	38	587	10.3	977	2.23	1.11	123
5月	1540	66	37	577	10.2	1009	2.23	1.11	125
6月	1536	66	37	579	10.2	1009	2.22	1.11	124
7月	1539	66	37	578	10.2	1006	2.23	1.11	125
8月	1532	66	37	580	10.2	1012	2.22	1.10	126
9月	1539	66	37	580	10.2	1011	1.73	1.08	125
10月	1537	64	38	582	11.9	1020	1.91	1.11	125
11月	1538	67	37	577	10.2	1005	2.23	1.11	125
12月	1532	66	37	580	10.2	1012	2.22	1.10	126
1月	1534	66	36	578	12.1	1009	1.93	1.11	126
2月	1526	64	38	590	11.9	1017	1.91	1.12	125
3月	1546	66	36	577	12.1	998	1.92	1.11	124
年間平均	1537	66	37	580	10.8	1007	2.08	1.11	125

マザーアース 栄養課

(4) 令和1度 行事食 実施記録

月 日	行事名	
5月5日	端午の節句	・赤飯・天麩羅(えび、カボチャ、茄子) ・ブロッコリーゼリー寄せ ・フルーツのヨーグルト和え ・清汁(花麩、三つ葉) ・こいのぼりバームクーヘン
7月7日	七夕	・七夕そうめん ・天婦羅(キス、しし唐、しめじ) ・人参のゴマドレ ・果物(メロン)・七夕羊羹
7月27日	土用の丑	・うなぎごはん ・冬瓜のカニ風味あんかけ ・清汁(花麩、みつば) ・果物(スイカ)
9月16日	敬老の日	・赤飯栗添え ・お口取り(サーモン、宝玉寄せ、紫花豆) ・天婦羅 ・煮物盛り合わせ ・清汁(生紅葉麩、三つ葉) ・果物(メロン、巨峰)・おやつ(練り切り)
9月13日	十五夜	・鮭の月見蒸し ・豆腐のゴマしょうゆ ・清汁(ナルト、わかめ) ・果物(甘夏缶) ・月見まんじゅう
11月3日	文化の日	・菊花寿司 ・さばの塩焼き ・春菊のピーナッツ和え ・清汁(まりふ、三つ葉) ・果物(柿) ・紅茶ケーキ
12月22日	冬至	・赤飯 ・さけの柚香漬け ・南瓜のいとし煮 ・清汁(豆腐、わかめ) ・ぶどうゼリー ・おやつ(あんドーナツ)
12月25日	クリスマス	・人参ピラフ ・ビーフシチュー ・キャベツのドレッシングかけ ・トマトスープ ・フルーツゼリー寄せ ・おやつ(ショートケーキ)
1月1日	お正月	・おせち料理(一の重:金目鯛の西京漬け・数の子・栗きんとん・伊達巻・黒花豆・酢とり生姜) (二の重:煮しめ・紅白なます) ・赤飯 ・清汁(寿かまぼこ、三つ葉、柚子) ・果物(苺/ミルクかけ)・甘酒
1月2日	お正月	・鮭酢飯 ・天ぷら(えびくわいちぎり、しし唐、カボチャ) ・ほうれん草のお浸し ・みかん ・おやつ(甘酒)
1月7日	七草粥	・七草かゆ(小松菜・大根・人参・椎茸・鶏肉・卵)・うずら豆佃煮・白菜の甘酢和え
1月11日	鏡開き	・おやつにお汁粉
2月3日	節分	・豆ご飯 ・豚肉とナスのテンメンジャン炒め ・春菊の中華風和え ・いわしのつみれ汁 ・果物(苺) ・おやつ(甘納豆)
3月3日	雛祭り	・五目寿司 ・さわらの西京焼き ・菜の花の辛子和え ・清汁(まりふ、三つ葉) ・果物(苺) ・おやつ 道明寺桜もち、甘酒

マザーアース 栄養課

(5) 令和1年度反省点 栄養課

○利用者の身体・精神状態、食習慣に考慮した食事の提供

- ・嗜好調査を実施し、利用者・職員の意見を吸い上げ、新しいメニューを積極的に取り入れた。
今後も増やしていく予定。
- ・給食日誌の残食の欄を細かく設定し直し、何がどのくらい残るのが明確になるようにした。
残食の多いものに関しては、栄養課全体で原因を探り、調理法の見直しやメニュー変更を行っていく。
- ・栄養管理会議の議事録を栄養課職員全員で把握し、食事変更の経緯を知り、誤配膳を起こさないように努めた。

○他部署との連携

- ・月一回栄養管理会議を開催し、利用者に合った食事を提供できるよう他部署と意見交換を行った。
また、給食管理会議も同時に行うことで、行事食・選択食の説明や、新メニューに関しての利用者の反応、より良い食事の提供方法などを話し合う機会とすることができた。

○新人の教育

- ・新入職員が2名増えたので、チューター以外の者も声かけをしたり、本人たちに栄養課会議で発言してもらうなどして、わからないことを聞ける環境作りに努めた。

○職員の質の向上

- ・栄養課会議の質を上げるため、開催時間を勤務後にし、集中して意見交換が出来るようにした。
今後もこの会議で選択食の内容や、栄養会議で挙げられた問題点等に対して職員全員で取り組める時間にしていけるようにする。

○調理技術の向上

- ・職員同士でよくできたものを参考にし、共有することができた。
- ・少ない人員でも業務が遂行できるよう、仕込み・調理時間を短縮できる食材を提案し、実際の献立に落とし込むことができた。
- ・冷蔵・冷凍庫のスペースの余裕がなくなる為、在庫チェックの頻度を増やしていった。
- ・新食材を使用する機会が増えているため、それらに合った調理法を共有していった。

○衛生・安全面

- ・消毒・殺菌の徹底し、利用者に食中毒・感染した方が出ることなく衛生管理ができた。
- ・仕込み方法を工夫することにより、包装されているものの混入を防いだ。
- ・調理器具・食材の扱いに注意を払い異物混入を防いだ。

○栄養ケアマネジメント

- ・ミールラウンドの時間を増やすことが出来なかった。新人が慣れ、厨房が安定したら、調理員もミールラウンドを行い、モチベーションアップに繋がるようにしていきたい。

14.居宅介護支援事業所

(1)ケアプラン関係

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
新規受付	2	4	1	2	7	3	1	4	3	3	2	6	38	3
実施件数	99	100	96	94	96	97	98	97	98	97	98	96	1166	97

※小数点以下四捨五入

(2)サービス利用状況(実人数)

通所介護	63	64	64	63	68	69	69	69	70	68	68	67	802	67
訪問介護	17	17	16	16	15	14	14	14	15	16	17	16	187	16
短期入所生活介護	16	15	13	14	12	14	11	16	13	14	15	12	165	14
短期入所療養介護	2	2	2	2	3	2	2	1	1	1	1	1	20	2
福祉用具貸与	54	56	54	54	55	57	57	55	55	53	52	52	654	55
訪問看護	12	14	13	13	13	13	14	14	14	15	13	12	160	13
通所リハビリ	18	21	21	17	17	16	17	18	17	18	17	19	216	18
訪問リハビリ	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	14	1
訪問入浴	4	4	3	4	4	4	4	4	4	4	4	4	47	4
計	188	195	187	184	188	190	189	192	190	190	188	184	2265	189
利用事業所数	51	51	48	49	50	51	50	48	49	51	52	51	601	50

※小数点以下四捨五入

(3)申請代行

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護保険 (区変・更新)	3	6	6	6	6	5	8	3	5	2	6	4	60
住宅改修	0	0	0	0	1	1	0	1	2	1	1	2	9
福祉用具購入	0	0	3	1	1	0	1	1	1	0	0	1(2)	9(2)
計	3	6	9	7	8	6	9	5	8	3	7	7(2)	78(2)

※()福祉用具購入品の数

・長年、使用していたウインケアからケアカルテに変わり、パソコン入力に試行錯誤している状況ですが、一日も早く使いこなし、入力がスムーズに出来るよう心掛けていきたいと思っています。

・一年を通じてケアマネ1人35人前後は担当していたのですが、入院やサービス利用なしの方もいて全体件数的には、もう少し頑張りたいところです。月に100件超えるよう調整していきたいと思っています。

※しかし、この新型コロナウイルスの影響で積極的な訪問が出来ないので、ある程度落ち着いたところから頑張っていきたいと思っています。

逆に、この間、書類整理や見直し、自分たちのスキルアップの時間にあてたいと思っています。

15.地域包括支援センターおおい

(包括的支援事業実施業務実績報告書)

1 相談

○相談件数 (単位:件)	時間内	時間外
①来 所	131	1
②電 話	2,391	33
③訪 問	837	7
④その他	56	1
合 計	3,415	42

※その他とは、電子メール・FAX等の場合。

○相談者の区分 (単位:件)

①本 人	1,230
②家族・親族	1,174
③介護支援専門員	355
④介護サービス事業所職員	845
⑤行政関係者	233
⑥関係機関	338
⑦民生委員	52
⑧近隣・知人	33
合 計	4,260

※複数可

○相談内容 (単位:件)

①介護相談		237
②介護保険サービス		2,554
③介護保険の地域支援事業		83
④保健・医療・福祉		411
⑤権利擁護		43
⑥安否確認		6
日常生活全般	⑦生活面	313
	⑧家族	23
	⑨金銭面	15
	⑩住居	17
	⑪近所・地域	3
	⑫その他	34
合 計		3,739

※複数可

○利用者基本情報作成件数(単位:件)

作成件数
0

※利用者基本情報を提出すること

○介護予防事業支援表作成件数(単位:件)

介護予防サービス計画費作成件数
0

※利用者基本情報を提出すること

(単位:件)

介護予防ケアマネジメント費作成件数	
A-要支援 1	249
A-要支援 2	459
A-事業対象者	113
C-要支援 1	0
C-要支援 2	0
C-事業対象者	0

2 権利擁護業務

○相談件数 (単位:件)		新規	継続
成年後見制度(再掲)		5	9
消費者被害(再掲)		2	0
困難事例(再掲)		5	12
虐待対応	①相談件数(再掲)	6	0
	②訪問件数(再掲)	0	4
	③立入につなげた件数	0	0
	④やむを得ない措置での入所及び養護老人ホームでの入所に至った件数	0	0

○内容(虐待) (単位:件)

虐待	身体的虐待	6
	経済的虐待	0
	心理的虐待	0
	性的虐待	0
	介護放棄	1
合 計		7

※複数可

3 ネットワーク構築(包括主催)

(単位:回)

①地域連携に係る会議	0	
②多職種連携に係る会議	4	
③ケアマネ支援に係る研修等	1	
④担当学会議	0	
⑤出前講座実施	13	
⑥一般介護予防事業(びんしゃんクラブ)	0	
⑦地域介護予防活動支援事業	4	関を兼ねる自主C
⑧自主グループ	316	4
⑨訪問型介護予防事業	0	
⑩オレンジカフェ運営	7	
⑪その他	1	
合 計	346	

※①～⑤⑪は「活動報告書」

⑥⑦は「地域介護予防活動実勢報告」

⑧⑨⑩は各種報告書を添付する

5 広報活動等

(単位:回数・延人数)

①センターの広報	1	30
②権利擁護に係る広報	0	0
③交通安全アドバイス	2	80
④介護予防の普及・啓発	4	170
⑤その他	3	69
合 計	10	349

※活動報告書を添付すること。

4 会議等への参加

(単位:回)

①介護保険サービス担当学会議	0
②地域関係者主催の会議	0
③市主催地域ケア会議	11
④地域密着型運営推進会議	3
⑤権利擁護に係る会議	6
⑥介護予防事業関係	29
⑦その他	60
合 計	109

※活動報告書を添付すること。

16.令和元年度 あんしんセーフティネット事業 報告

支援対象者の状況	主な支援内容
① <u>ふじみ野市在住 50歳 男性 独居</u> 生活保護受給者。外出時に財布を落としてしまった。その後財布だけ見つかった。保護費を全額持ち歩いてたため一銭もない状態。次の保護費支給日までの間、食料の支援をお願いしたい。 ふじみ野市福祉事務所ケースワーカー介入あり。	フードバンク食料
② <u>ふじみ野市在住 72歳 男性 独居</u> 2ヶ月前から腰痛で休職していたが、状態が良くなってきたので復職したいが、交通費がないので支援してほしい。ガス代の滞納があり、既に止まっている状態だったが、生活に不便はないとの事。しかし状況を確認するとカセットコンロを絨毯の上で使用し、溶けている箇所があったりし、火事を起こす危険性あり。また、食料の支援依頼はなかったが冷蔵庫の中には食べかけのそばが入っているだけ。当面の食料なので、少しずつ食べている、という。 ふじみ野市福祉総合支援チーム(自立支援期間)の介入あり。	食料購入 ガス代 交通費(ICカード)
③ <u>ふじみ野市在住 夫39歳 妻32歳 娘16歳 親子3人世帯</u> 夫は就労していない。妻の前職の給料に未払(2ヶ月)あり裁判中。担当の弁護士より、12月には給料が入る見込みであると言われたため、直近で入った給料で光熱費等の滞納分を支払った。しかし、結局給料の支払いはなかったため、電気代が足りず食料も買えない状況となってしまった。親戚から少しお金を借りることが出来たが、生活がおくれるほどではない。電気はすでに停止通知が届いているため支援してほしい。 ふじみ野市福祉総合支援チーム(自立支援機関)の介入あり。	電気代 食料購入
④ <u>ふじみ野市在住 52歳 男性 独居</u> 派遣で仕事をしていたが、繋げて仕事が出来ず預金を切り崩して生活していた。就職が決まったが、貯金が底をついてしまったため、仕事に行かれない。交通費を支援してほしい。また、食料の支援をお願いしたい。	交通費(ICカード) 食料
⑤ <u>ふじみ野市在住 49歳 女性 独居</u> 台風の影響で働き先の店舗が水害で営業できない。 仕事をしていない時期が何か月もあり、ガス代が支払えずにいた。また、新しい職場が見つかるも給料の支給が12月のため、一時的なガス代の支払いと、1週間分の食料支援及びバイトのみの給料では生活できず、電気代、日用品の支援をお願いしたいとの相談有。 また、富士見市の系列店で一時働くことになったが、電車が代がないので、交通費(ICカード)の支援をお願いしたい。	ガス代 食料 日用品 電気代 交通費(ICカード)
⑥ <u>ふじみ野市在住 52歳 女性 娘18歳 シェアハウス在住</u> シェアハウスに2世帯で生活しているが、12月の時点で11月の給料が1月に入る予定で現在お金と食料がない状態。給料を前払してもらい生活していた。次回給料が入ってもお金を返済しないとイケない。しかし返済金の総額がわからない。また、食料がなく困っているので、食料支援をお願いしたいとの相談あり。	食材購入 フードバンク食料

⑦ <u>ふじみ野市在住 38歳 女性 息子18歳 シェアハウス在住</u> ⑥の方と市役所で面談中、シェアハウスで一緒に暮らしている全く同じ状態で困っている人がいるという話があり、呼んで頂き面談を行なう。子供たちがたくさん食べるので食料がなく困っているの 食料支援をお願いしたいとの相談あり。	食材購入 フードバンク食料
⑧ <u>ふじみ野市在住 49歳 女性 独居</u> 去年の11月まで飯田橋のレストランで働いていたが、ヘルニアで働くことができず家賃、ガス代、電気代、水道代が滞納状態。 ガス代が本日中に支払わないと止まってしまう。 次の就職先は決まっており、今の手持ちで1週間分のお金はある という事でガス代の支援をお願いしたい。	ガス代